



カトリック町田教会
町田市中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



わたしの魂は主をあがめ、わたしの
霊は救い主である神を喜びたたえま
す。

ルカ 1:47

神様のアイコン

助任司祭 田中 昇



パソコンでワープロやイン
ターネットなどの様々な機能
を使う時は、専門のソフトウ
エアを起動する必要があるま
す。その際、パソコンの画面
に示されたアイコンと呼ばれ

るソフトウエアのシンボリッ
クな絵柄をクリック(キーを
軽く叩く動作)します。
このアイコンという語は、
もともとは姿、形を意味する
エイコン(アイコン)という
ギリシア語に由来しています。
皆さんもアイコンと聞けば、キ
リストや聖母、天使や聖人な
どを板に描いたあの独特な絵
を思い出されるでしょう。
聖書によれば、神は人をこ

自分のエイコン(姿形、似
像)として創造された(創1
27)と教えています。また、
土から造られた人は、神の吹
きかける命の息によって生き
る存在となった(創2:7)
とも言われています。人が神
に似た姿形であるとは何によ
つてなのでしょう。それは、
他者に心を開き他者のために
自らの命を生きること、即ち
愛するという点で人は神に似
たものなのだと言えると思い
ます。この人というアイコン
が力を発揮するのは、神の息
吹を受けることによってなの
です。それは、私達を生かす
御言葉、神の愛を私達の魂の
深奥に届えることだとも言え
ます。もし私達が、神の御言
葉に心を開いていないとする
なら、私達は何にも希望も持
てず、どこかで他者を、そし
て神をも信頼し愛する相手と
はせず、比較競争の対象、妬
みや憎しみ等の対象としてし
まうでしょう。それこそが地
に支配され縛られている姿な
のです。神様は人に「地を従
わせ、全ての生き物を支配せ
よ」(創1:28)と語ります。
これは、人は神が良いものと
して創造された喜ばしい世界
を愛の心で守り世話していく
ようにという意味です。しか
し、人はエデンの園で神との
親しい交わりを失いました。

それは、人が自分を生かす神
の御言葉を捨てたことを意味
します。人は、信頼し共生す
る関係を捨て、差別し支配す
る関係という身勝手な態度を
他者と神様に対して示すよう
になったのです。互いに裸で
あつても全面的な信頼に支え
られていた時、人は身を隠す
ことなど考えもしなかったの
に(創2:25)、墮罪の後に
は神の御顔を避け、木陰に隠
れて我が身をいぢじくの葉で
覆う者となりました(創3:
7-10)。こうして人というア
イコンは、他者に、そして神
様に心を開かぬ者、いわば起
動できない閉ざされたアイコ
ンとなってしまいました。
人が、再び神のアイコンと
して機能するには、再び神

より豊かな共同体への発展に向けて

運営委員会議長 小溝 茂雄



今年度の運営委員会の議長
を務めることになりました6
の2プロックの小溝です。
私が町田教会に來たのは27
年前で、当時の主任司祭は酒
井俊雄神父様でした。大倉一

の息吹、御言葉を受け入れる
ことが必要なのです。自己中
心的な考えや生き方に捉われ
神以外の声に縛られるのでは
なく、私達を神と他者との温
かな交わりへと解放するため
に、新たな息吹を私達に与え
て下さるのが、まさに人とな
つた神の子イエスご自身なの
です(ヨハネ20:22)。イエ
ス様は、私達一人ひとりも頂
いているかけがえのない神様
からの賜物を発揮させるアイ
コンをクリックして下さる方
です。そのアイコンの絵柄も
機能も人それぞれ異なるでし
ょう。けれども私達は皆、イ
エス様によって真の神のアイ
コンとして働くものとなるこ
とができるのだと思います。

美神父様の時代には、亡くな
られたオペラ歌手の東敦子さ
んが聖堂で歌を歌ってくれた
のを覚えています。このよう
に町田教会の所属は長いので
すが、私のことを知っている
人は少ないと思います。教会
活動に加わることはない、ミ
サに与りに来るだけの信者だ
つたからです。
そんな中、昨年度の運営委
員選出に当たつてある方から

お電話を頂き、是非にということでお引受したのが今回につながりました。きつかけは、一昨年の規約制定の説明会で異論を述べたことです。私はいわゆる古い信者で、第2パチカン公会議が求めている方向に全く疑念を持っていませんが、変わる教会への違和感からの発言でした。運営委員会という形の教会運営もそのひとつです。

しかし、高木神父様が繰り返しおっしゃっているように、司祭が減少していく中で、教会をどのように運営して行くかは、全信徒が真剣に考えねばならぬ問題です。ミサに与りに来るだけの方、教会に籍はあるがめつたに來られない方達の視点も加えて、共に考えて行きたいと思えます。

昨年度の運営委員会は、久保田議長、「助け合い、分かち合い、深め合い」のもと、規約の整備、生涯養成委員会の発足、ミサボランティアの組織化、厨房の安全対策の検討と様々な取組みを進めてまいりました。今年度の運営委員会はこれらを発展、定着させていくことが使命と考えております。特に、厨房の安全対策は、町田教会の活動の源泉となつているミサ後の食事の提供に関わる問題で、今秋に臨時総会を開いて決めてい

きたいと考えております。

町田教会のより豊かな共同体への発展に向けて、皆様のご協力を得て取り組んでまいりたいと思えます。

黙想会を準備して

生涯養成委員 丸井 千尋
去る三月二十二日(月曜日)、
振替休日)の一日黙想会は、昨

年十一月二十九日第二ミサ後の高木神父様の講話会に続く催しとして、生涯養成委員会が企画したものです。

まず、開催日を決め、同委員会メンバーから準備係5名を選出し、他のメンバーは係を手伝うことになりました。

開催予定日まで三か月を切つた時点となつては、指導者の確保もままならなかつたので、

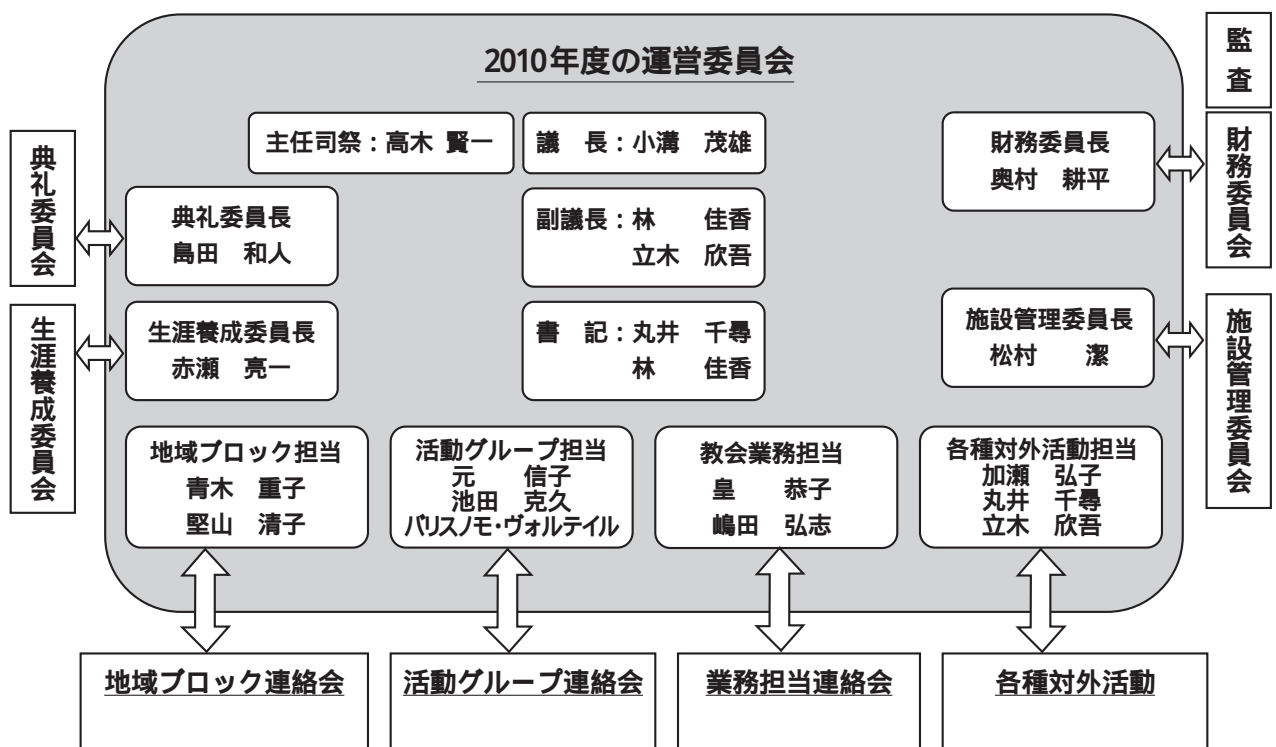
多くの一日黙想会で行われている午前と午後に講話を設けるタイプを時間割に選んで先に具体化を進め、次に黙想会指導者の候補リストをつつた後、高木神父様の助言を頂きながら黙想会のテーマを「四旬節における黙想とは」に決定しました。

フランスシノ会明星幼稚園園長で、三軒茶屋教会の松本蔵神父様が指導を引き受けてくださいました。また、高木神父様の助言で、松本神父様が到着されるまでの約30分間は、ベネディクションを行うことにな

りました。黙想会のなかで、ベネディクションを行うことを町田教会主催の黙想会の形にしてはどうだろうか、という提案も反省会で出されましたので、今後生涯養成委員会が黙想会を計画する際には、ベネディクションの実施も検討されることとしてい

生涯養成委員会が黙想会を主催する趣旨としては、信徒が自分に合った黙想のスタイルを見つけていけるように、いろいろな形の黙想会を提供することがある、と高木神父様から示唆を頂いております。開催地まで遠出せずとも参加できる点が良い、という参加者の感想も頂戴しました。

生涯養成委員会が黙想会を主催する意義は当面存在するようです。黙想会など、霊的成長と生涯養成のための企画に関心をお持ちの方の、委員会への参加をお待ちしております。



ありがとう 天本神父へ



絵本の読み聞かせて最後の説教をされる天本神父

優しくかった天本神父へ

久保田 伸

天本神父が07年に司祭叙階されたときの記念カードが私の手元にあります。主イエスよ、来てください」という言葉とともに、イエスと抱き合う信徒の姿が描かれています。天本神父は、カードに描かれた絵のように、人を包みこむ優しい面を大事にされて町田教会をリードされてこられたなと思います。

運営委員会では立場上あまり発言はされませんが、今年、運営委員会で「はじめて来られた方に優しい教会にしよう」と、ミサボランティア

アを立ち上げたときは、積極的に関わって頂きました。

説明資料やボランティアの肩につけるリボンを用意したり、どのように接するべきか話し合いに入ってもらいました。そのとき天本神父は「こちらから言うのではなく、聞かれたことを話す受け身で行こう」と、人を受けとめることを話されました。人を優しく包みこむ天本神父の考えが反映されたものだったなと思っています。

天本神父様へ

林 佳香

天本神父様、四月二十九日の横浜教区の叙階式では、思いがけずお目にかかれ、嬉しかったです。

堂々と、また澁淵としたお姿は、もう、北町教会の主任神父様のお顔で、町田を去られる時におっしゃった「司祭は、必要とされる場所に派遣され、私は喜んで参ります」というお言葉を、見事に実現しておいででした。

聖堂も信徒も司祭館も、全て変わりましたが、そのご苦労を片鱗も感じさせない力

強さと優しさ。それは、神様を通して人を見つめ、人を通して神様を見つめ、神様の福音を伝える司祭職に徹しておられるからなのでしょう。私は遠くから見つめながら、胸が一杯になりました。

三年前の叙階式の初々しいお姿、三年間の町田での、心を尽くし、懸命なお姿を忘れません。そしてこれからも、ますます多くの信徒に囲まれる神父様でいらしてください。お祈りしております。感謝のうちに。



天本神父様との思い出

三須 真理

町田教会に着任された天本神父様に、日曜学校で福音についてお話を下さるようお願いしました。日曜学校の内容について、保護者と神父様との間で多少の意見の違いはありましたが、こちらの要望を聞き入れて下さったことを感謝しております。

神父様はよく子供たちに本を探して読んで下さいました。谷川俊太郎の本がお好きのようで、子供たちも熱心に聞いておりました。遠足では一緒にサッカーをしたり、教会で

ワンポイント聖書



(176)

前島 誠

家族全員を無事に送り出すと、ヤコブは独り後に残った。その時、何者かが夜明けまでヤコブと格闘した。その人は勝てないと思えるや、ヤコブの腿の関節をはずした。その人「去らせてくれ、夜が明ける。」

ヤコブ「祝福してくれたら離します。」
その人「お前の名は何というのか？」
ヤコブが答えると、その人は言った。
「これからお前はイスラエルと呼ばれる。神と人と闘って勝ったのだから。」

ヤコブ「どうかお名前をお教え下さい。」
その人「どうして尋ねるのか」と言って、ヤコブをその場で祝福した。ヤコブはその場所をベヌエル（神の顔）と名付けた。

二十年ぶりの故郷の前にして、ヤコブは兄エサウに使いを送ります。しかし兄からの返事はない。それどころか、四百人の従者を連れてこちらに向かっているとの知らせを受けて、深く思い悩みます。

ヤコブは家畜の群れを二手に分け、従者に贈り物を持たせて先に行かせ、自分はそのまま野営地にとどまる。引用はその時見た夢の中身でした。以下がその要点です。

- 1 族長ヤコブの別名「イスラエル」
- 2 その名付親は神ご自身
- 3 なぜかご自分は名乗らず
- 4 ヤコブその地を「神の顔」と呼ぶ

創世記32章23～31



イースターエッグを祝福される天本神父

のお泊りの時は、近くの銭湯に連れて行って下さり、子供たちは大喜びでした。保護者も子供たちにお勉強を教えることになり、勉強会もして頂きました。不勉強な私たちに、いろいろと資料を準備して下さい、どんな質問でも丁寧に解説して頂き、毎回とても勉強になり楽しいひと時でした。これからも北町教会でご活躍されることをお祈りしております。

お花見に参加して

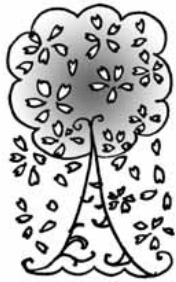
神谷 富雄

今年は桜前線の訪れが早いといわれ、また彼岸も過ぎたというのに、三月の終わりの土曜日は真冬を思わせる寒い一日だった。

ウエルカムテーブル恒例のお花見。幸いにも曇りのち晴れの天気に恵まれ、武蔵野の自然が残る桜ヶ丘公園でのんびりウオークに参加した。花をこよなく愛して久しい方々とインドネシアからの若いご夫婦の16名。

町田駅で待ち合わせ、小田急多摩線永山駅で下車。駅舎を出るとすぐにハイキングコースに入る。風が冷たい。小田急線と京王線の下を抜ける、新しく開発された住宅地に出た。おそらくひと昔前までは雑木林と畑、民家の散在

する里山だったのだろう。未だ桜はちらほら、檜やくぬぎの梢もまだ固い。どこからか鳥のさえずり。冷たい風もおさまり、お楽しみのお弁当を開いてご馳走を分かち合う。最も幸せなひととき。自己紹介のあと打ち解けて歓談。はじめての出会いもたちまち旧知の間柄となる。そのあと豊かな気分を野を散策し、バスで永山駅へと帰途に着いた。満開の桜と新緑の芽吹きを幻に見ながら。一同無事で恵みと感謝の一日だった。今日の企画を立てられた村松姉と、下見のうえ道案内してくださった幾永兄に感謝である。



平成21年度 一粒会 献金実績表

1月 115,690円	7月 110,700円
2月 76,350円	8月 87,450円
3月 188,100円	9月 113,920円
4月 8,160円	10月 65,020円
5月 5,953円	11月 76,000円
6月 121,817円	12月 134,690円
計 1,103,850円	

犠牲献金
中高生会

- 2月14日 10,383円 (ペロニカ苑へ)
- 3月14日 10,691円 (ペロニカ苑へ)
- 4月11日 10,954円 (ペロニカ苑へ)
- 5月2日 9,206円 (ペロニカ苑へ)

「雷の子」次号編集会議予定

6月20日(日)09時30分

於会議室

お詫びと訂正

「雷の子」280号で図書紹介をしていた横塚さんのお名前に誤表記がありました。お詫びして、次のように訂正いたします。

横塚千代子 ↓ 横塚千枝子

信者動静

2010年2月～4月

(個人情報のため、削除しています)

* お知らせ

町田教会のホームページに添付されている「雷の子」の信者動静欄は、プライバシー保護の観点から、今後掲載しないことになりました。従来のバックナンバーからも、この欄の記載内容を削除しておりますので、ご了承ください。関連情報が必要な場合には、広報または司祭にお申し出ください。